

さあ、はじめましょう！

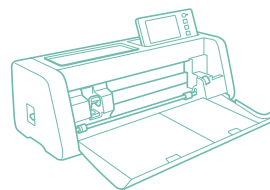


スタートガイド

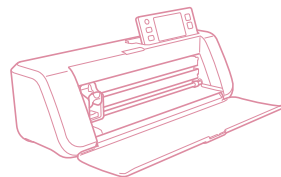
はじめに『安全にお使いいただくために』をお読みください。



ScanNCut DX をお使いの場合
 ➡ 3ページへ



ScanNCut をお使いの場合
 ➡ 8ページへ

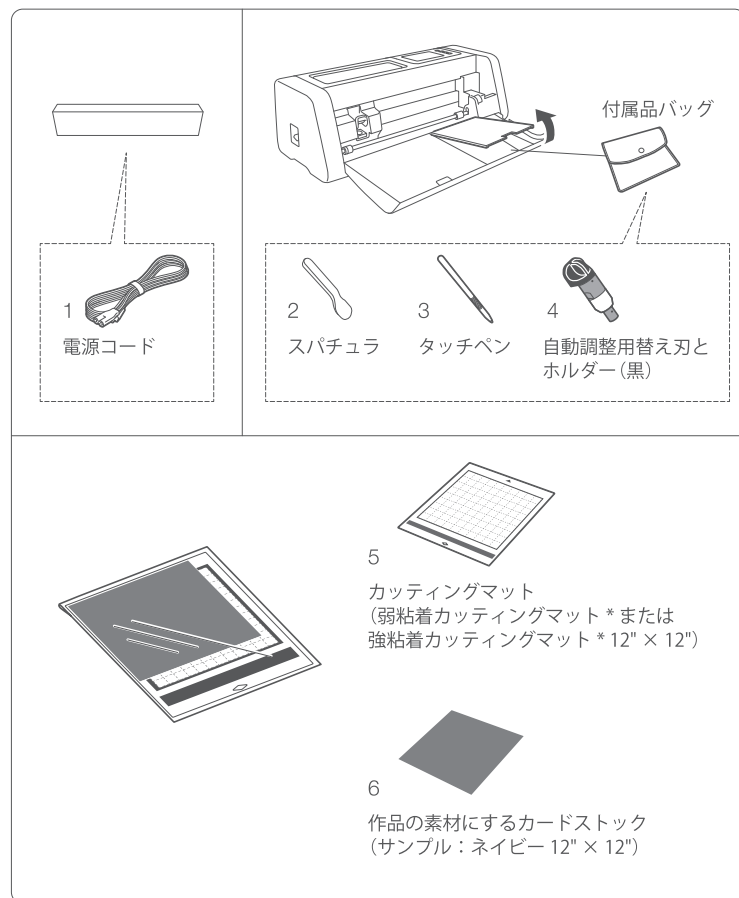


本体の準備「ScanNCut DX」

本書の指示に従って、作品づくりを始めましょう!



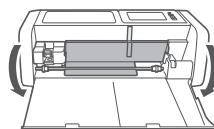
今回の作品づくりに必要な付属品を取り出します。



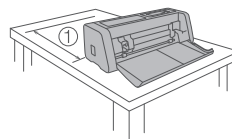
*機種により付属品の内容が異なる場合がございます。

箱から取り出して、電源コードを本体に接続します。

1



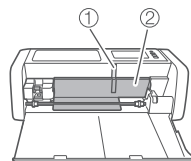
フロントトレイカバーを開けます。



① 30cm以上空ける

左の図のように、フロントトレイカバー全体が机の上しっかりと収まっていることを確認します。
同梱されている12インチのカuttingマットを使用する場合、マットが本体の前後に送り出されるため、本体の後ろに十分なスペースがあることを確認してください。

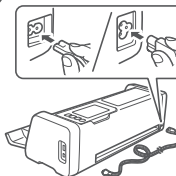
2



① テープ
② 緩衝材

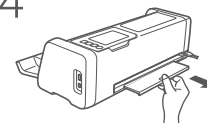
電源を入れる前に、固定テープと緩衝材を取り外してください。

3



電源コードを本体に接続し、電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。

4



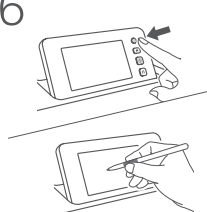
リアトレイを引き出します。

5



操作パネルの角度を調整します。

6



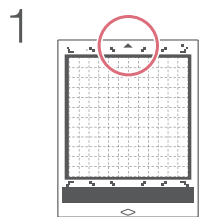
電源を入れます。オープニング画面が表示されたら、画面上のどこかを押してください。メッセージが表示されたら、「OK」キーを押します。

Step 1

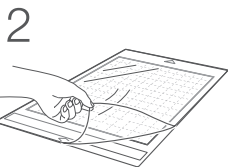
マットにカードストックを貼る

この作品では、ScanNCut DXに付属されたカードストックと専用のカッティングマットを使用します。

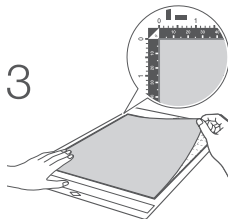
付属のカードストックは、強粘着カッティングマットまたは弱粘着カッティングマットのどちらでも使用できます。



本体の搬送スロットに面する矢印の向きが、表面の上側にあることを確認します。



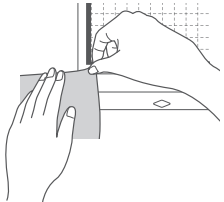
保護シートをはがします。
*保護シートはマット保管時に使用するため、マットからはがした後も捨てずに保管してください。



マットの粘着面にカードストックを貼ります。



カードストックをマットにしっかりと貼りつけます。



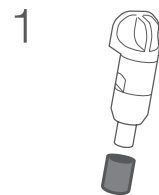
通常は、素材に対してマットの粘着力が適切かを確認するために、素材をマットに貼る前に、粘着面の端を使って試し貼りをします。ただし、本作品では試し貼りは不要です。

次の作品をつくる時は、P.7「マットと刃を選ぶ」を参照し、素材に適したマットを選択します。

Step 2

自動調整用替え刃ホルダーを取り付ける

この作品では、右図の黒い自動調整用替え刃ホルダー（刃は取り付けられています）を使用します。

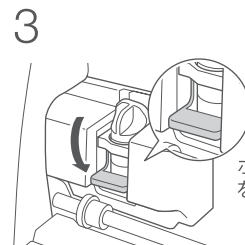


保護キャップを取り外します。



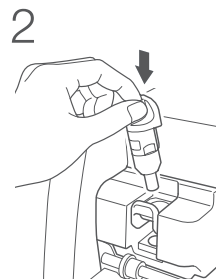
注意

保護キャップを取り外した後、ホルダーの先端を手や指で押さないでください。刃が出てケガをするおそれがあります。



ホルダー固定レバーを押し下げます。

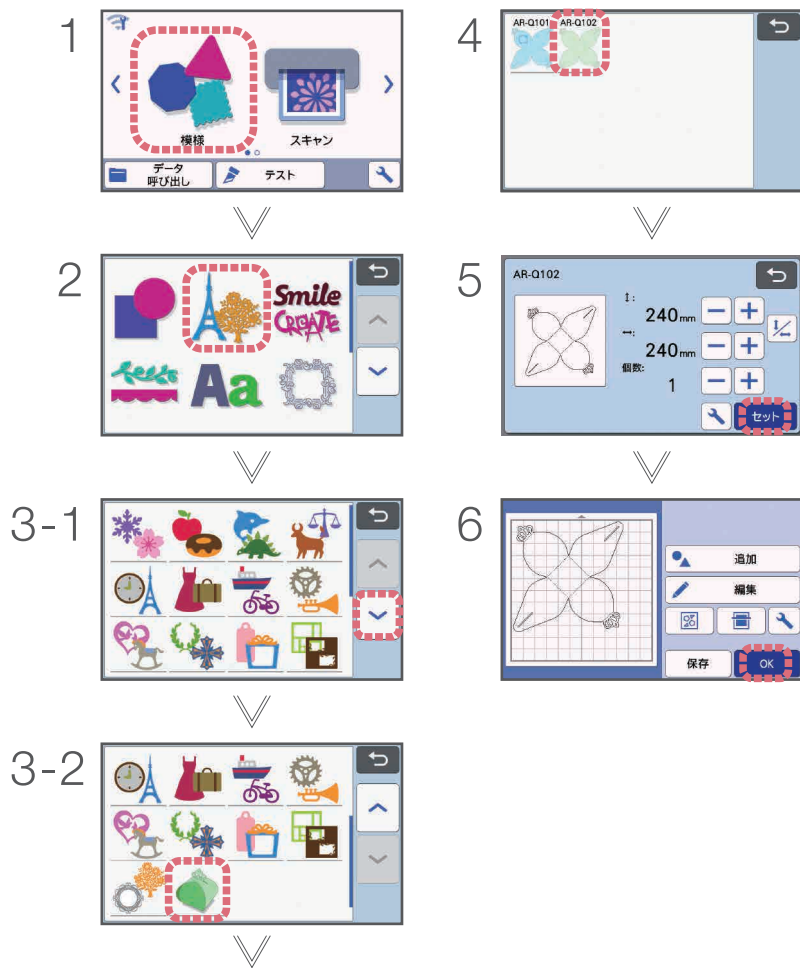
次の作品をつくる時は、P.7「マットと刃を選ぶ」を参照し、素材に適したホルダーを選択します。



ホルダーのつまみ部分をつかんで、キャリッジに差し込みます。

Step 3

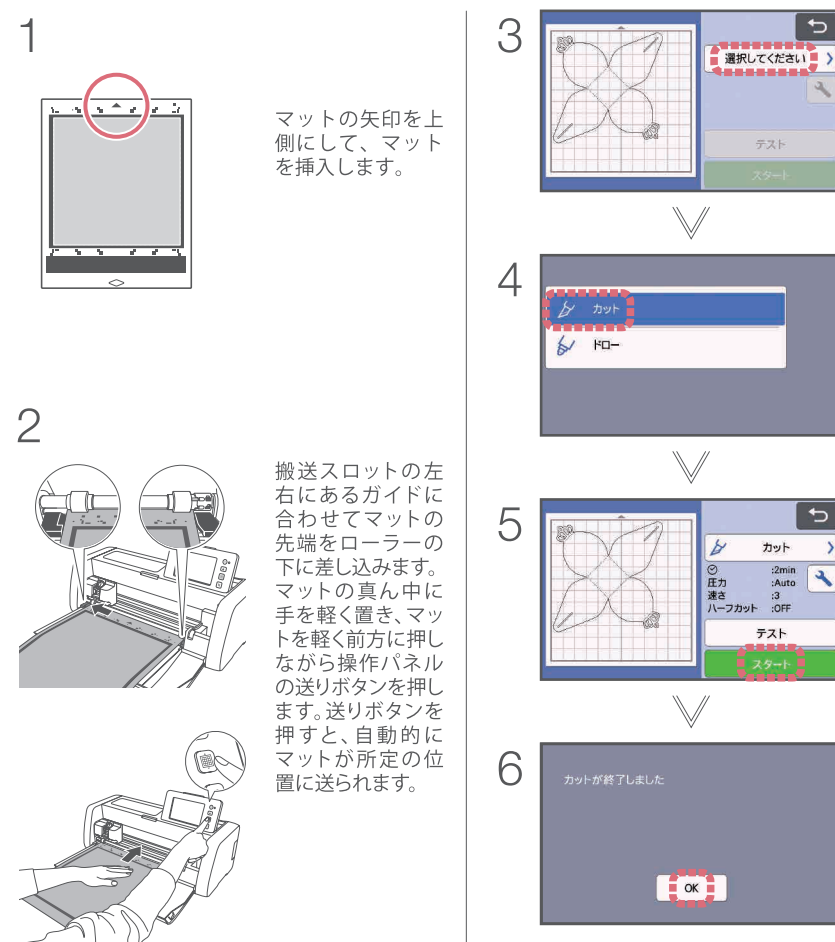
模様を選択する



- ✓ *液晶画面はタッチパネルのため、付属のタッチペンで操作できます。
 *機種によっては、本書に記載されている画面が実際の画面と異なる場合があります。

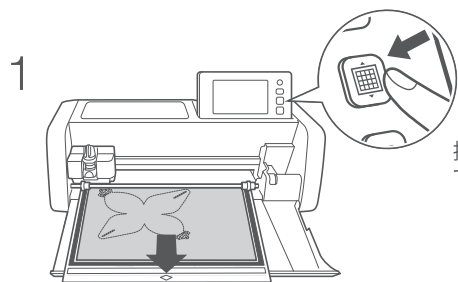
Step 4

マットを挿入してカットする

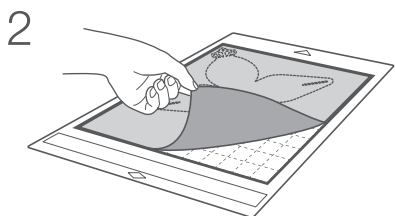


Step 5

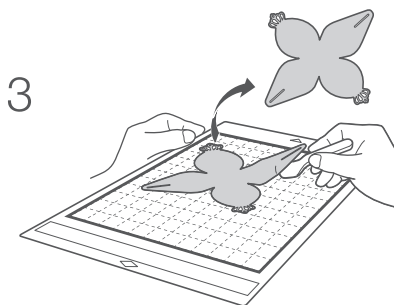
マットを排出する



操作パネルの送りボタンを押して、マットを排出します。



カードストックをはがします。

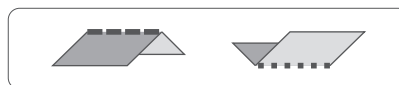
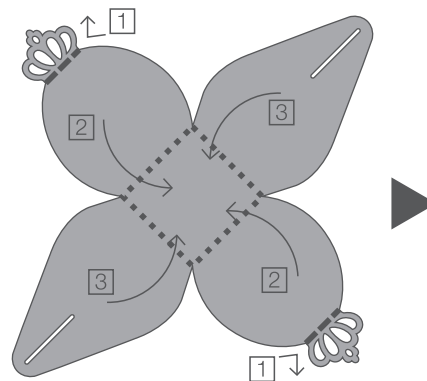


スパチュラを使って、切り抜いた模様をはがします。

☒ *粘着力を保つために、使用後は保護シートをマットに貼って、マットの粘着面を保護してください。

Step 6

組み立てる



図のように矢印の方向に折り、組み立てます。

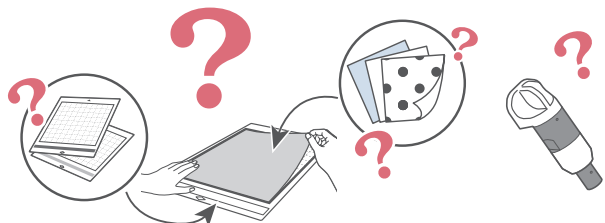
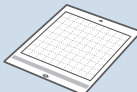
これで作品が完成しました!
ほかの作品をつくる時は、裏表紙
に記載された情報をご覧ください。



マットと刃を選ぶ

次の表を参照して、素材に適したマットと刃を選択します。

お使いのモデルによっては、付属品に含まれていないものがあるため、追加購入が必要な場合があります。

			マット (ScanNCut DX) ✓ * 表面が滑らかな紙を切るとき 		布カット用シート 		自動調整用替え刃ホルダー 		
素材			厚さ	強粘着 カッティングマット	弱粘着 カッティングマット	アイロン接着シート (白色剥離紙)	布用粘着サポート シート	ホルダー(黒) 自動調整用替え刃	ホルダー(ベージュ) 自動調整用替え刃 “薄い布用”
紙	コピー用紙	80 g/m ² (0.1 mm)	✗	✓				✓	
	スクラップブック用紙 (薄い)	120 g/m ² (0.15 mm)		✓				✓	
	スクラップブック用紙 (普通)	200 g/m ² (0.25 mm)	✓	✓ *				✓	
	カードストック	280 g/m ² (0.35 mm)	✓	✓ *				✓	
	ベラム、トレーシングペーパー	0.07 mm		✓				✓	
	ボール紙	400 g/m ² (0.5 mm)	✓	✓				✓	
布	薄いコットン生地 (キルトピース用)	0.25 mm	✓				✓		✓
	薄いコットン生地 (キルトピース以外)	0.25 mm	✓		✓			✓	
	フランネル (キルトピース用)	0.5 mm	✓			✓			✓
	フランネル (キルトピース以外)	0.5 mm	✓		✓			✓	
	フェルト	3 mm	✓		✓			✓	
	デニム 14 oz	0.75 mm	✓		✓			✓	
その他	プラスチックシート (PP)	0.2 mm	✓					✓	
	ビニール	0.2 mm	✓					✓	
	ゴムマグネットシート	0.3 mm	✓					✓	
	ステッカー、シール	0.2 mm	✓	✓				✓	
	スポンジシート	3 mm	✓					✓	

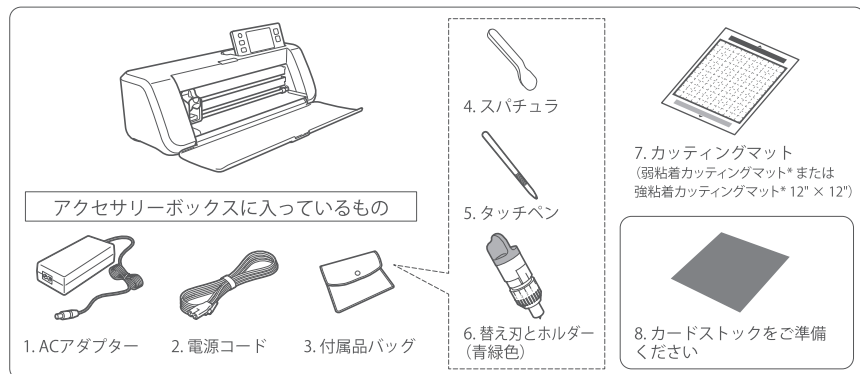
*この表は布をカットするための基本情報を含みます。また、これらは付属の操作早見表にも記載されています。

本体の準備「ScanNCut」

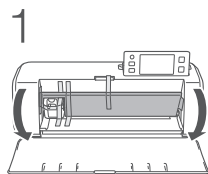


本書の指示に従って、作品づくりを始めましょう！

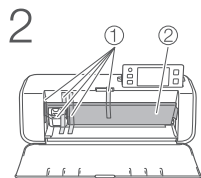
今回の作品づくりに必要なものを準備します。



*機種により付属品の内容が異なる場合がございます。

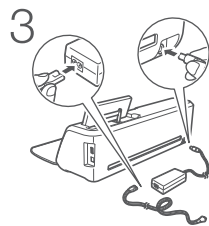


1 フロントトレイカバーを開けます。

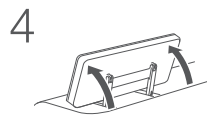


① テープ
② 緩衝材

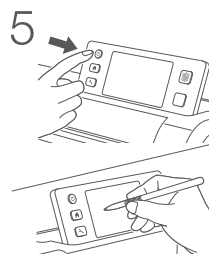
2 電源を入れる前に、固定テープと緩衝材を取り外してください。



3 ACアダプターに電源コードを接続し、ACアダプターを本体に接続します。電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。



4 操作パネルの角度を調整します。



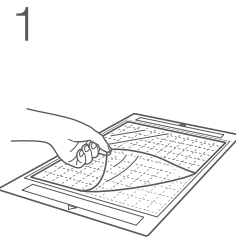
5 電源を入れます。オープニング画面が表示されたら、画面上のどこかを押してください。メッセージが表示されたら、「OK」キーを押します。

Step 1

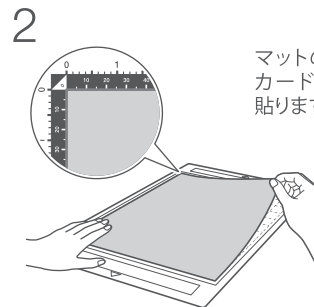
マットにカードストックを貼る

この作品で使用するカードストックは、事前にご用意ください。

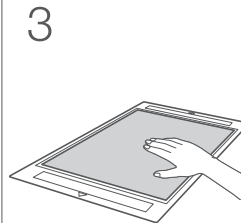
カードストックは、強粘着カッティングマットまたは弱粘着カッティングマットのどちらでも使用できます。



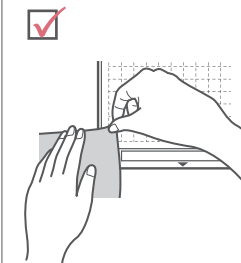
1 保護シートをはがします。
*保護シートはマット保管時に使用するため、マットからはがした後も捨てずに保管してください。



2 マットの粘着面にカードストックを貼ります。



3 カードストックをマットにしっかりと貼りつけます。

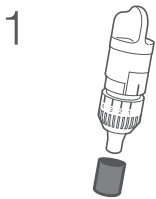


通常は、素材に対してマットの粘着力が適切かを確認するために、素材をマットに貼る前に、粘着面の端を使って試し貼りをします。ただし、本作品では試し貼りは不要です。

次回の作品をつくる時は、P.11「マットと刃を選ぶ」を参照し、素材に適したマットを選択します。

Step 2

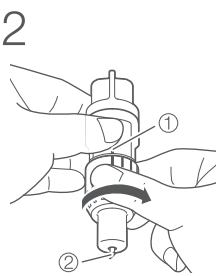
替え刃ホルダーを取り付ける



保護キャップを取り外します。

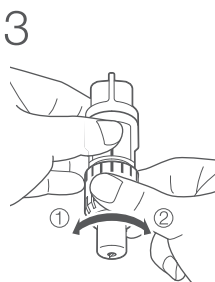
注意

保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

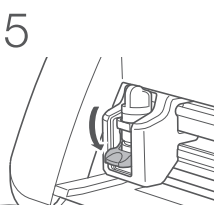
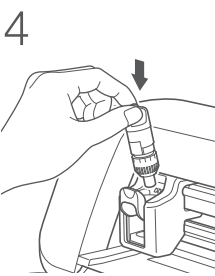


- ① 印
- ② 刃を最大量まで出します。

次回の作品をつくる時は、P.11「マットと刃を選ぶ」を参照し、素材に適したホルダーを選択します。



- ① 刃を短くしたいとき、左へ回します。
- ② 刃を長くしたいとき、右へ回します。



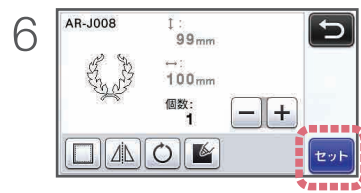
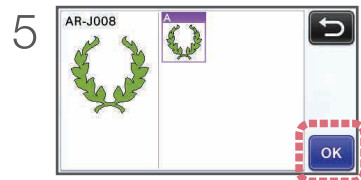
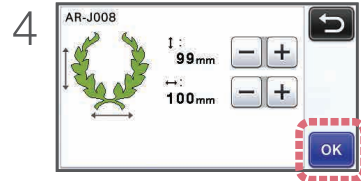
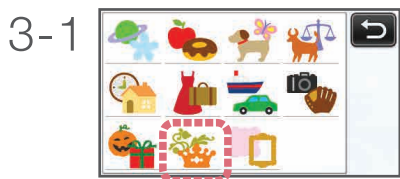
素材の厚みを確認し、刃の出し量を調整します。P.11「マットと刃を選ぶ」を参照ください。
*刃量調整ヘッドの数値が大きいほど、刃は長くなっています。

ホルダーのつまみ部分をつかんで、キャリッジに差し込みます。

ホルダー固定レバーを押し下げます。

Step 3

模様を選択する

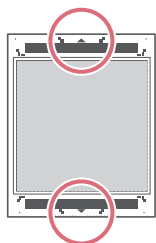


✓ *液晶画面はタッチパネルのため、付属のタッチペンで操作できます。
*機種によっては、本書に記載されている画面が実際の画面と異なる場合があります。

Step 4

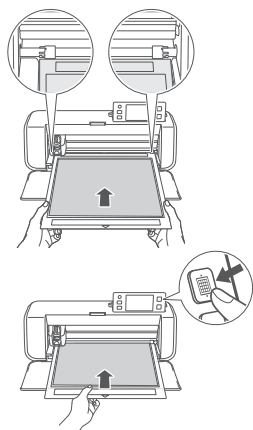
マットを挿入してカットする

1



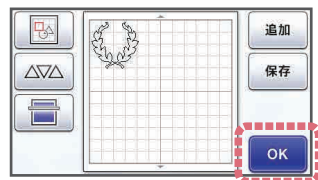
マットの矢印の向きに合わせて本体へ挿入します。
*マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。

2

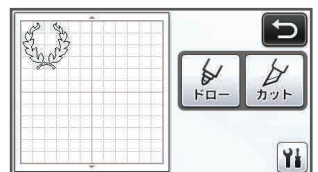


マットを水平に保ちながら、搬送スロット左右にあるマットを送るローラーの下に挟み込みます。マットがローラーの下にしっかりと挟み込まれたら、操作パネルの送りボタンを押します。送りボタンを押すと、自動的にマットが所定の位置に送られます。

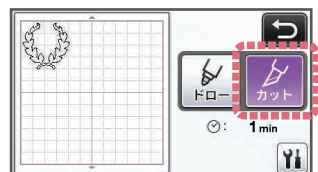
3



4



5



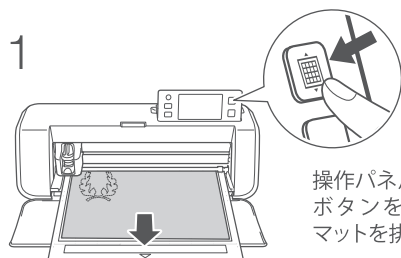
6



Step 5

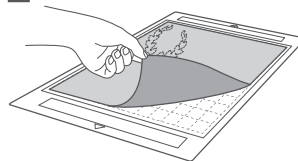
マットを排出する

1



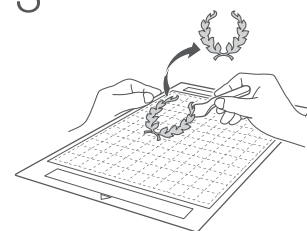
操作パネルの送りボタンを押して、マットを排出します。

2



カードストックをはがします。

3



スパチュラを使って、切り抜いた模様をはがします。

☒ *粘着力を保つために、使用後は保護シートをマットに貼って、マットの粘着面を保護してください。

Step 6

出来上がり

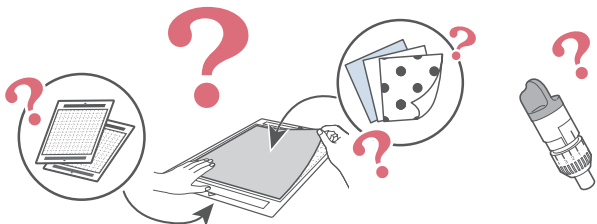
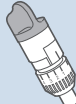
同じようにカットした模様を組み合わせて、華やかな作品を作りましょう!



マットと刃を選ぶ

次の表を参照して、素材に適したマットと刃を選択します。

お使いのモデルによっては、付属品に含まれていないものがあるため、追加購入が必要な場合があります。

			マット ✓ * 表面が滑らかな紙を切るとき 		布カット用シート 		刃の出し量 (ホルダーの目盛)  *ハーフカット	カット圧力 の設定値 	ホルダー (刃) 		
素材			厚さ	強粘着 カッティング マット	弱粘着 カッティング マット	アイロン 接着シート (白色剥離紙)	布用粘着 サポート シート		ホルダー (青緑色)	厚物用 ホルダー (紫色)	
紙	コピー用紙	80 g/m ² (0.1 mm)	✗	✓				3	-1	✓	
	スクラップブック用紙 (薄い)	120 g/m ² (0.15 mm)		✓				3.5	0	✓	
	スクラップブック用紙 (普通)	200 g/m ² (0.25 mm)	✓	✓ *				4	0	✓	
	カードストック (薄い)	200 g/m ² (0.25 mm)	✓	✓ *				4	0	✓	
	カードストック (普通)	280 g/m ² (0.35 mm)	✓	✓ *				5	0	✓	
	ベラム、トレーシングペーパー	0.07 mm		✓				3	0	✓	
	ボール紙 (薄い)	280 g/m ² (0.35 mm)	✓	✓				5.5	0	✓	
	ボール紙 (厚い)	400 g/m ² (0.5 mm)	✓	✓				7.5	4	✓	
布	薄いコットン生地(キルトピース用)	0.25 mm	✓				✓	4	4	✓	
	薄いコットン生地(キルトピース以外)	0.25 mm	✓			✓		4	4	✓	
	フランネル (キルトピース用)	0.6 mm	✓				✓	6.5	4	✓	
	フランネル (キルトピース以外)	0.6 mm	✓			✓		6.5	4	✓	
	フェルト	1 mm	✓			✓		5	5		✓
	デニム 14 oz	0.75 mm	✓			✓		5.5	6		✓
その他	プラスチックシート (PP)	0.2 mm	✓					4	0	✓	
	ビニール	0.2 mm	✓					4	0	✓	
	カッティングシート (剥離紙: 0.1mm)	0.07 mm	✓	✓				1.5 *	-1	✓	
	ゴムマグネットシート	0.3 mm	✓					5.5	0	✓	
	ステッカー、シール	0.2 mm	✓	✓				4	0	✓	
	ステッカーシート (剥離紙: 0.15mm)	0.15 mm	✓	✓				2 *	-1	✓	

*この表は布をカットするための基本情報を含みます。また、これらは付属の操作早見表にも記載されています。

ご自身で作品をつくれる時は、より詳しい操作方法と便利なスキャン機能について記載されている、操作早見表を参照してください。

お役立ち情報 - 作品をより良く仕上げるために

操作方法について、詳しくは取扱説明書を参照してください。
取扱説明書はじめそのほか説明書は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://s.brother/cmoag/>) からダウンロードすることができます。

下記ウェブサイトから動画による操作方法をご覧ください。
YouTube-Brother ScanNCut DX-
<http://s.brother/sncdxytb/>



使いかた動画やマニュアルも
このアプリひとつでOK!

Brother SupportCenter 検索

※アプリケーションは無料でダウンロードできますが、App Store、Google Playへ
接続する際の接続料は、お客様のご負担となります。



CanvasWorkspace

<http://CanvasWorkspace.Brother.com>

より高度な編集をアプリケーションで実現。
豊富なコンテンツと作品レシピで、
作品づくりのインスピレーションを広げましょう。



D01304-101①